

名古屋鉄道株式会社副社長兼鉄道事業本部長と

御嵩町長・可児市長・八百津町長の会談について

5月1日に名鉄副社長と3首長が会談し、今後の名鉄広見線対応について、以下のとおり協議しました。

日 時 平成21年5月1日（金）午前11時10分～午前11時50分

場 所 御嵩町役場 2階 公室

会談者 名古屋鉄道株式会社 柚原誠副社長兼鉄道事業本部長

渡辺公夫御嵩町長

山田豊可児市長

赤塚新吾八百津町長

会談内容 以下のとおり（要旨）

<沿線市町から>

- ①引き続き名鉄による運行をお願いしたい。上下分離や別会社の設立は行わない。
- ②市町は利用増加策に取り組むので、最大限の協力をお願いしたい。
- ③市町は一定の期間、名鉄の運行に対する財政支援を行う。

以上のように、名鉄に方針を伝え、協力を要請した。

<名古屋鉄道株式会社から>

- ①去る2月23日に開催された、沿線市町などにより構成する名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会において確認された基本方針は伺った。
- ②その基本方針に基づき、沿線市町が「利用者の増加・収支改善のための支援」へ主体的に取り組まれるという前提において、民間事業者として、可能な範囲での協力をさせていただく。
- ③今後、スケジュール感をもって、それら支援策の具体化に向けた協議を行いたい。

以上のように、沿線市町に対して回答をした。